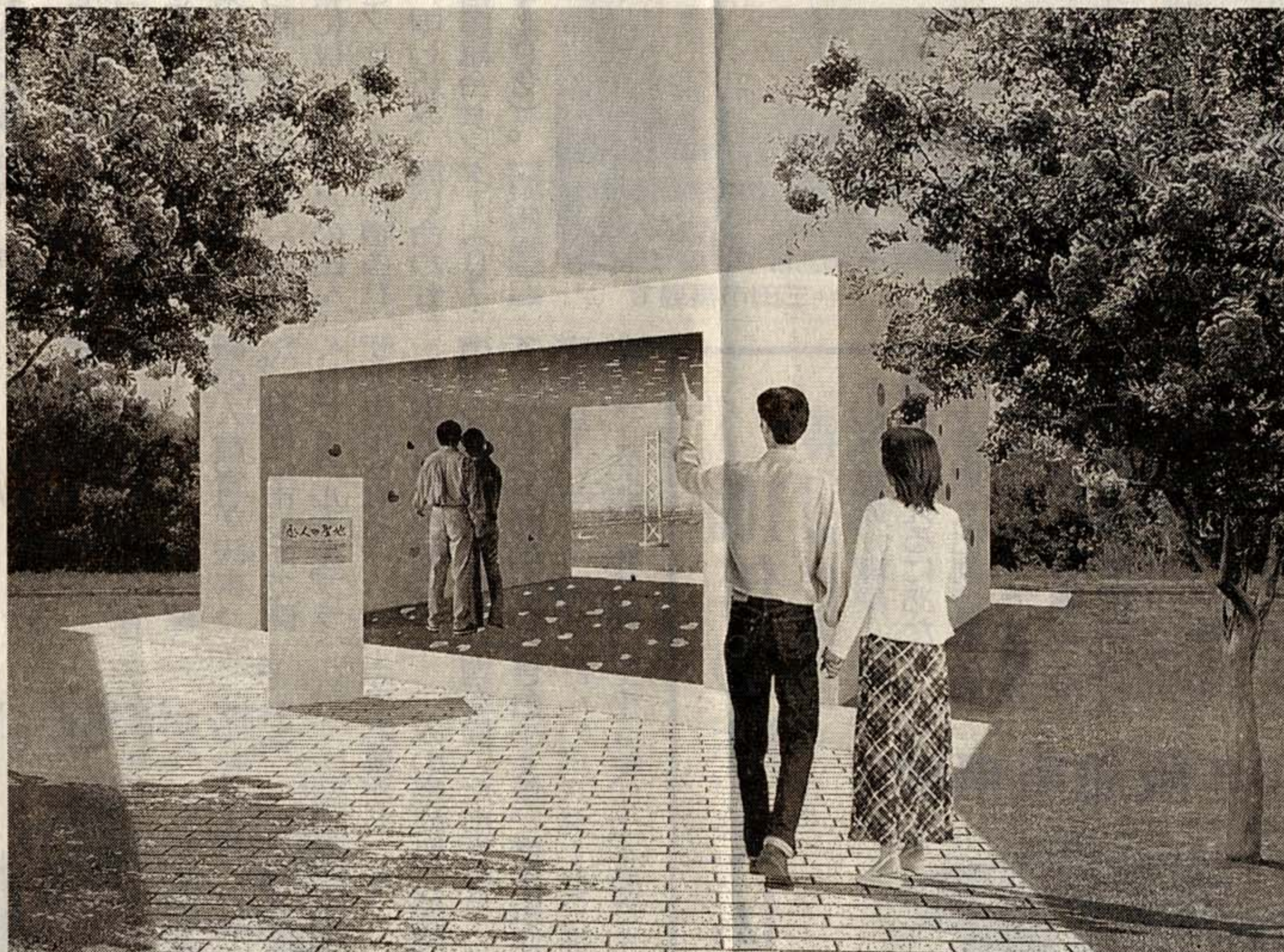


愛語らう恋人の聖地

淡路SAにモニュメント

来月7日完成セレモニー



淡路市岩屋の神戸淡路鳴門自動車道・淡路サービスエリア（SA）を、若いカップルが訪れる恋のメッカにしようと、本州四国連絡高速道路会社は淡路SA（上り）に「恋人の聖地」のモニュメントの建設を進めている。11月7日にオープニングセレモニーがある。

今年4月、NPO「地域活性化支援センター」（静岡市）が選定する「恋人の聖地」に認定された。同センターは06年から地域活性化などを目的に各地域を代表する公共性のある観光施設などを恋人の聖地として認定している。淡路SAからは明石海峡大橋を望む「橋のみえる丘」や観覧車などがあり、恋人が愛を語らうスポ

ットとして最適なことから、同社が申請した。

モニュメントは大橋が見える場所に建設。高さ2・45m、横5・6m、奥行き4mの純白のステンレス製で、大橋の雄大な風景を切り取るゲート形をしており、ハート形に切り取られた天井が作り出す光と影がハートのシヤワーになって床面に落ちるようになっていく。モニュメントに通じる遊歩道にはサルズベリを植栽し、バーシアンロードにいざなうイメージにした。

7日のオープニングセレモニーには、伊藤周雄・同社社長、恋人の聖地選定委員のファッションデザイナー、桂由美さんらがテープカットする。同社広報課は「大橋のライトアップの演出をするなど、全国から若いカップルが訪れるような恋のメッカになってほしい」と話している。

【登口修】

淡路SAで建設が進められている「恋人の聖地」のモニュメントの完成イメージ図（本州四国連絡高速道路会社提供）